

## 利用者さんの自己選択支援

こんにちは、ゆい A ブロックの橋立です！  
今回は、ある利用者さんの自己選択支援を紹介します。

### ～事前情報～

過去に自己選択として、提示された 2 種類のうちどちらか 1 つを選んでいただくという 2 択チョイスを実施しましたが、選んでいただいたものをすぐにお渡ししなかったためか、ご本人は“提示された 2 つどちらも得られる”と認識してしまい、不調になってしまいました。

そのため、今回は、

・2 つを提示し、選んでいただいたものをすぐに出す。

・×＝ダメ、なしという理解はあると思う、と親御さんから伺ったため、○×を取り入れる。

上記の方法でまずは実施しました。

### ① 赤○、青×チョイス法

右のような箱を用意しました。

利用者さんが普段の活動のリワードで食べているお菓子を選んでいただきました。

事前に箱の中にお菓子を準備し、選んでいただいたらすぐに提供するようにしました。

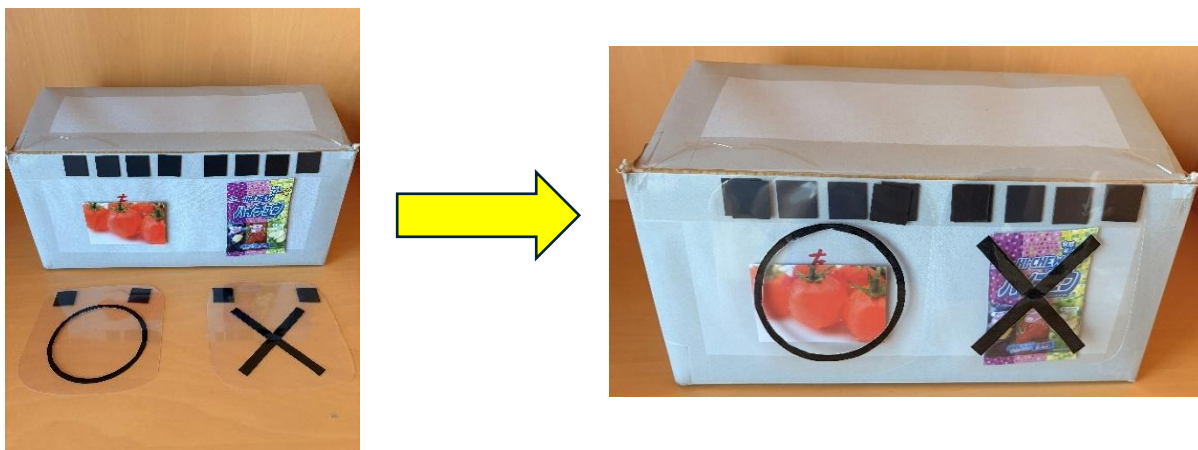
取り組んでいくうちに色別課題だと認識してしまい、赤っぽいパッケージに赤○、青っぽいパッケージに青×を付けるようになってしまいました。

ここからお菓子を出します  
(利用者さんには見えないように！)



## ② 黒○、黒×チョイス法

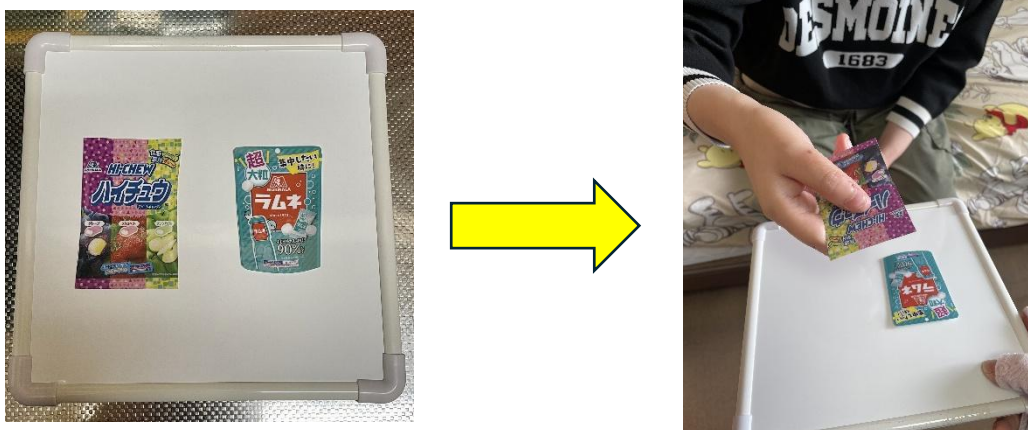
色別課題だという認識を無くすため、○×を黒にしてみました！また、「○を貼った方がもらえる」という理解をしていただくために、利用者さんの大の苦手なミニトマトも導入してみました。すると、○を左、×を右に貼るという拘りが出てきてしまいました…。



## ③ 直接手渡し法

○×を廃止し、2 択から 1 つ選んで、職員に手渡していただく方法にしました！

最初は理解が追いついておらず、苦手なミニトマトも選んでしまいましたが、選んでいくうちに理解していき、ご自身の好きなお菓子をチョイスできるようになりました！！



今後は、余暇や外出時のテイクアウト昼食メニューなど、様々なチョイスを実施していく予定です！